

Council of Social Welfare

大 淀 町

社協だより

第 号
平成 年
月発行

おがおで介護
こころのネットワーク
あんしんサポート



～ふれあい活動センターの風景～

発行所／社会福祉法人 大淀町社会福祉協議会
〒638-0821 大淀町下湊 1223 番地 TEL0747 - 52 - 1941
社協だよりは、共同募金の配分金により作成しております

大淀町元気な地域づくり推進協議会

1年間の活動のご報告

平成28年4月より社会福祉法人制度改革が始まり、これまで以上に地域における公益的な取り組みが求められることとなりました。これに伴い大淀町内の社会福祉法人が、昨年の5月10日に「大淀町元気な地域づくり推進協議会」を設立しました。

大淀町元気な地域づくり推進協議会は、地域のニーズを把握し、制度の枠にとらわれない狭間の問題に対応するために設立されました。また、法人単体の取り組みから法人間で連携した取り組みへ分野を超えた協働の基盤づくりを進めていく協議会です。

新たな福祉課題に対応するため、具体的な実践を通じて資源開発に取り組み、地域福祉の向上につなげるために今年度は、大淀町の高齢者・障害者・子どもに関することなどの現状と課題を重点的に委員会で話し合いました。大淀町元気な地域づくり推進協議会で協働の事業展開ができるよう企画しています。

29年度には新事業を展開していきます。詳細については改めて周知させていただきます。住民の皆様のご参加をお待ちしておりますので、よろしくお願い致します。

心配ごと相談のご案内!!

私たちの生活の中には困りごとや心配ごとがあると思います。「どこに相談にいけばいいかわからない」または「相談とまではいかないが、ちょっと話を聞いてほしい」と言う時、皆さんが安心して利用できる機関として「心配ごと相談所」があります。

行政相談員や人権擁護委員・民生児童委員が、福祉の視点でお話を聞かせていただきます。

相談日：毎月第2、4水曜日

相談場所：大淀町役場1階住民ホール

相談は無料で、秘密は厳守します!!
お気軽にご相談下さい。



地域福祉系の事業紹介

- ・高齢者見守り協定事業
- ・ちいきふれあいサロン事業
- ・地域福祉権利擁護事業
- ・ボランティア活動推進校助成事業
- ・ボランティア保険窓口業務
- ・生活福祉資金貸付事業
- ・共同募金事業
- ・配食サービス事業
- ・心配ごと相談
- ・子どもの居場所づくり事業
- ・社協だより発刊事業 など



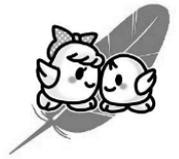
社会福祉協議会は、『当事者や住民の主体性を原動力とした福祉のまちづくり』を使命に地域福祉活動の推進に努めます。

お詫び!!

前回の社協だよりでチャリテイーゴルフコンペについての記事を掲載いたしました。協力団体の記載につきまして、『大淀町体育協会』の記載漏れがありましたことをご報告を、お詫び申し上げます。訂正させていただきます。

今後とも社会福祉協議会の活動にご協力を賜りますようよろしくお願い致します。





**「共同募金運動」への「協力
誠に有難う」ございました!!**

「じぶんの町を良くするしくみ」をテーマに昨年10月から12月までの間実施いたしました「赤い羽根共同募金運動」につきましては、住民の皆様的心あたたまるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。集まった募金については、奈良県共同募金会へ送金させていただきます。いただいた後、大淀町の地域福祉に使わせていただきます。

また、様々な募金活動の中で、ご尽力いただいた協力団体の皆様、街頭募金の際には快く場所を提供していただきました各店舗の皆様による厚いご支援にも深く感謝いたします。ありがとうございました。



【活動の様子】



H28年度赤い羽根共同募金額

募金の種類	金額
戸別募金	1,428,250 円
街頭募金	73,969 円
職域募金	115,200 円
法人募金	30,727 円
学校募金	14,360 円
その他募金	7,393 円
合計	1,669,899 円



民生児童委員の一斉改選が行われました!!

昨年12月1日大淀町で49名の民生児童委員並びに主任児童委員が、厚生労働大臣の委嘱を受け3年間の任期が始まりました。

民生児童委員とは、社会奉仕の精神で、住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、福祉事務所など関係行政機関の業務に協力するなど、社会福祉の推進に取り組んでいます。高齢者・障害者・母子世帯など要支援者の調査、相談支援や自主的な地域福祉活動など幅広い活動を行われています。

暮らしや生活に困った時は、地区の民生児童委員に気軽にご相談ください。福祉への架け橋として大きな味方となっていただけます。



あんしん メール

～頼れる地域のサポーター～

3月に入り段々暖かくなってきました。皆さんは健康を維持するためにどんなことをしていますか？

体操やスポーツをする方法もありますが、いざ始めようと思ってもどうしていいかわからない。または続かない方も多いのではないのでしょうか。

今回は、高齢者の方にお勧めする気軽に始められる散歩(ウォーキング)を紹介します。散歩には良い効果があり、骨が強くなくなります。

笑って過ごす健康法

散歩編

●散歩の良さと効果

①認知症予防
有酸素運動である散歩をすることで、身体の血液量が増大し、脳が活発に働くため、認知症予防になります。

②骨が強くなる
高齢者の怖い病気である「骨粗しょう症」は散歩により予防することができま

す。軽い負担をかけることで、カルシウム量が増加し骨が強くになります。

●無理は禁物

運動初日から張り切りすぎると身体が痛くなり、散歩を続けることが難しくなります。継続することが大切なので、準備運動・水分補給・



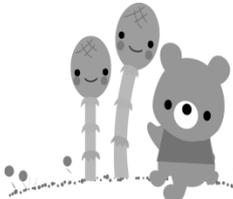
③心肺機能が高まる
心臓のポンプ機能をサポートすることで血液の循環機能を高める働きがあります。第二の心臓と言われる足を鍛えることで体力の維持・増進にもつながります。

●あんしんサポーターでは(地域包括支援センター)「家族介護者教室」や「出前講座」などでもお話しします。お気軽にご相談ください。

あとがき

寒さの中にも少しずつ春の訪れを感じる様になりました。春の便りが届くごとに心もほっこりしてきます。

季節の変わり目にあたって、皆様のご健康にご留意なされることをご祈念申し上げます。編集後記とさせていただきます。(にし)



たくみ 匠 ～地域で輝く元気人～



かいほう くにひろ さん (北町学園前区)

今回は「桜っ子みまもりサポーター」の開発さんをご紹介します。

「桜っ子みまもりサポーター」を始められたきっかけは、校長先生が小学生の登校の誘導・見守りをされていた時に、自分がサポートできないかと思い始められたそうです。

雨の日も風の日も休むことなく、毎日、桜ヶ丘小学校児童の見守りサポーターとして、通学児童の安全確保のために見守り活動を継続されています。

匠の一言

警察官を退職後、地域の子どもの安全のために始めました。毎年、小学校で開催される「交通安全感謝の会」で花束や作文を頂き「いつもありがとう」と言ってくれる、子ども達の笑顔と元気な声が継続できる支えであり一番の喜びです。

地域の子ども達が、安全で安心な生活が送れるように一緒に活動してくれるメンバーを募集しています。難しい仕事ではないので、是非ご参加下さい。

広告掲載欄